

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 28 年度・後期	対象学科・専攻・学年	2 年 建築学科
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	三原 大介	居室 (もしくは所属)	講義棟 2 階研究室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. サッカーのキック (インサイド、アウトサイド)、ドリブル、パス、シュートが出来る。	⑥		
2. ルール・審判法を理解し、ゲームが出来る。	⑥		
3. バドミントンのフォアハンド、バックハンドのストローク、サービスパスが出来る。	⑥		
4. ルール・審判法を理解し、ゲームができること。	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1~4 について、実技試験よって 5 段階評価する。			
評価方法			
1. サッカーのドリブル・パス・シュートの試験を行い 5 段階評価する。			
2. バドミントンの正しいフォームでのラリー、サービス、スマッシュを打つことができ、ゲームができる。(5 段階評価)			
*授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、A、B、C、D、E の 5 段階で評価する。			
*欠課数が 1/3 を超える者は評価の対象にしない。			
授業内容			
サッカー			
1. 準備体操、用具、服装、授業内容、評価等についての説明、キック、パス、ドリブルの練習、整備体操			
2. 準備体操、ドリブル、パスの練習、シュートの基本、整備体操			
3. 準備体操、4つの班分け、パス、シュートの練習、ミニゲーム、整備体操			
4. 準備体操、ドリブル、パス、シュートの練習、ミニゲーム、整備体操			
5. 準備体操、ルール、審判の仕方の説明、ゲーム、整備体操			
6. 準備体操、ルールの確認、ゲーム、整備体操			
7. 準備体操、基本技術の確認、フリーキック、ゲーム、整備体操			
8. 体カテスト、持久走			
バドミントン			
9. 準備体操、ラケットの持ち方、シャトルの打ち方、ストロークの基本、整備体操			
10. 準備体操、フォアハンド、バックハンドのストローク、ラリー、整備体操			
11. 準備体操、フォアハンド、バックハンドサービスの基本、ラリー練習、整備体操			
12. 準備体操、サービス練習、ヘアピン、ラリー練習、整備体操			
13. 準備体操、ルール、審判の仕方説明、サービス練習、ダブルスゲーム、整備体操			
14. 準備体操、ルールの確認、サービス、ラリー練習、ダブルスゲーム、整備体操			
15. 準備体操、サービス、ラリー練習、シングルスゲーム整備体操			
*雨天など天候不順の場合は、室内競技または体育講義を実施する。			
キーワード	サッカー、バドミントン、持久走、コミュニケーション		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のラケットを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻 3 回は、授業 1 回の欠席にする。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 21 日		